

- ◎教科書を一つの資料としてどのように考えたか。
- ◎複式学級における学習形態をどのようにすればよいか。
- ◎国語学習における教材の分析をどのようにするか。
- ◎国語学習において教具、教本物をどのようにすればよいか。

などであった。複式学級における同題材指導では教科書というものの使用が絶対必要である以上、この使い方が特たいせつで、国語科における同題材が最も困難である。

**b, 理科**

複式における理科の指導はどうしたらよいか。

南会津郡下郷町榎原小学校 坂内清記

へき地などという、すべてに恵まれない不便な所のように考えられやすいが、一方山村なるがゆえに都会地より恵まれている点も多いということを見落してはならない。特に低・中学年の理科においては、指導内容が自然に関するものが多く、この点においては都会よりも恵まれている。

という信念で、分校をとりまく自然環境の中にある植物を学級園にまとめ、これを分類して理科の学習を効果的にすすめられるようにくふうした。

**c, 社会**

単級複式学級における社会科の指導について

会津若松市東山小学校一の渡分校 室井武雄

単級複式学級、21人の児童をどのようにして社会科学習をさせていくかについての苦心を発表している。その中で、

- ◎ 1人の教師がすべての教科を、すべての児童を取扱

うという困難。

- ◎単級学級がおかれているような地域の父兄のかたくな考え方をどのようにして普通一般的な考え方できり開いていくか。

- ◎経験領域の狭い児童をどのようにして、広めていくか。特に予算の少ない分校でどのようにして社会の協力を得たか、などについて苦心のあとを述べられている。

**d, 算数**

算数科の同題材指導について

大沼郡三島村宮下小学校滝谷分校 佐藤 広

算数科の同題材指導について、昨年全国大会において研究された経験をもとにして発表されただけに優れた成果であった。特に同題材指導でたいせつなワークシートの問題を取りあげ、作り方と使い方を具体的にあげているのは貴重な研究である。

**e, 県山村教育研究大会**

今年は県の山村教育研究大会と共催でこの大会を行った。文部省からは、田迫哲郎事務官を講師として招いて、へき地教育の現状とその分析と題して、

- ◎文部省におけるへき地教育についての諸施策について

- ◎同单元または同題材指導について

- ◎学習指導の近代化について

- ◎へき地学校における今後の問題点

- ◎幻灯によって全国へき地の実態

など紹介についての講演を行った。〔昭和34年度山村教育研究集録、第1集参照〕

**(4) へき地教育の諸問題**

**A 分校の施設・設備の基準を次のとおり示した**

現在の分校経営において必要教具と考えられるものならびに備品調査 昭和34年

学年	国語		社会		算数		理科		図工	
	品名	基準価格	品名	基準価格	品名	基準価格	品名	基準価格	品名	基準価格
1 年 …… …… …… …… …… …… …… …… …… 6 年 ま で	五十音図	100円	1年生掛図	3,200円	ボン ト ン 数 器 用 教 授 ソ ロ バ ン	1,500円	電気計器 (4種)	10,000円	ドライバ ー (6)	1,200円
	発音口型図	100	2年生掛図	2,200	立 ま す	3,000	足踏 フイ ゴ	2,000	図板 (10)	3,000
	ローマ字表	100	3年生掛図	4,000	上 皿 秤	1,000	鉄 製 ス タ ン ド	1,800	色 彩 教 育 掛 図	1,800
	国語字典	10冊 3,000	4年生掛図	3,000	方 眼 紙	1,500	ガ ラ ス 細 工 用 バ ナ ー	1,500	ペンチ(6)	1,800
	漢和字典	10冊 3,000	福島県地図	500	三 角 規 定	500	顕 微 鏡	10,000	両刃鋸(6)	2,400
			日本全図	3,000	コ ン バ ス	500	意 種 鏡 レ ン ズ (4種)	4,000		
			歴史年表	500			音 又	1,500		
			世界大地図	3,200			実 験 用 て こ	1,200		
			地方別 日本地区	6,000			モ ノ コ ー ド	1,500		
			州別 世界地図	6,000			電 源 装 置	6,000		
			地球儀	1,800			雨 量 計	3,000		
		6,300円	3,450円		9,500円		42,500円		10,200円	
現存率		22.2%		21.8%		65.9%		19.0%		14.2%